

令和元年度 三学期学校経営の構想
～子どもが変容した姿を実感できる教育を目指して～

令和2年 1月 7日
校長 樋口 則之

○ はじめに

再度、目指す子ども像を確認し、組織的・計画的な実践で、子どもの変容を実感したい。

1 2学期の学校経営に関する課題と2学期の学校経営の重点 ～学校経営の評価を基に～

[学校経営に関する評価から明確になった課題]

[目指す子どもの姿の評価から明確になった課題]

▲P J組織における確実な取組と評価・改善サイクル実施
↑学校の教育目標や重点目標を具現化する学級経営
◎危機対応と校内情報の共有
○児童の実態に応じた教育課程の実施
↑校内研修の確実な推進と日常化 ↑家庭・地域との連携

↑自分の考えを発表 ↓書く
↑心のこもったあいさつ だまって掃除
▲相手を大切にするふわふわ言葉
◎みんなで大縄跳びの取組
▲体力アップシートの活用

(1) 組織的・協働的な推進体制づくりから ※チームワークとカバーリング(目配り・気配り)

- ・3つの目指す子どもの姿(本年度の重点目標)と各種育成プランで目指す姿を、学年に応じた具体的な姿として、教職員と子どもが日常的に意識できるようにすること
- ・学び、心、体プロジェクト組織からの取組の焦点化と確実な実践への働きかけ
- ・危機管理意識の継続 ※事故やけが、問題行動などには連携し、迅速・確実・誠実な対応
※報告・連絡・相談(ほうれんそう)の徹底
- ・各種会議の効率化…各種委員会を近接学年会へ(生徒指導・特別支援 教育活動全般)

(2) 教育活動から ※凡事徹底(当たり前のことを誰もできないくらい続けること)と賞賛(ほめる)

(学び) 標準学力調査の課題を全教職員で共有し改善策の組織的・計画的な実施

- ※5年生全国学力状況調査に向けた組織的・計画的な取組
- ・吉井スタンダードな「考えを書く・説明する・学び合う」言語活動の積み上げと賞賛
- ・音声表現を支える音読指導の積み上げ
- ・学習規律の徹底 ・読書活動の改善の取組…量から質へ転換 多様な読書活動 図書司書と連携

(心) ・あいさつや掃除、正しい言葉遣いの意義の再認識と目指す姿を意識させる指導…具体的な姿を賞賛
・いじめ早期発見・早期対応の確実な取組の継続 特別支援の取組…専門家による教育相談の継続的

(体) ・外遊び、大縄跳びの奨励 ※体力アップシートの効果的な活用
・心身を鍛える教育活動…持久走 ※練習は時間走、記録会は距離走
・保健・安全・食育の指導の充実 ・養護教諭、栄養士と連携した指導

(3) 校内研修から

・来年度の発表会を見通し、国語科説明的文章の「読み」の指導の共有 ※子どもの伸びの姿を評価

(4) 家庭・地域との連携から

・地域の人・もの・ことの積極的な活用 ※教務主任→管理職に相談

2 働き方改革の点から

- ・自分の役割を果たしつつ、目配り、気配りで協働的に仕事を進めること 既存のものを有効に活用
- ・仕事の見通しをもち、超過勤務時間(月45h未満)を意識したメリハリのある働き方へ

3 その他

・服務規律の徹底・飲酒運転・体罰・わいせつ行為・薬物乱用・個人情報流出など不祥事防止

○ おわりに

